

筑後地理小誌  
全

特31

364

館			
函架號			
室 第			
六			三
一冊	三號	一架	二函

026241-000-4

特31-364

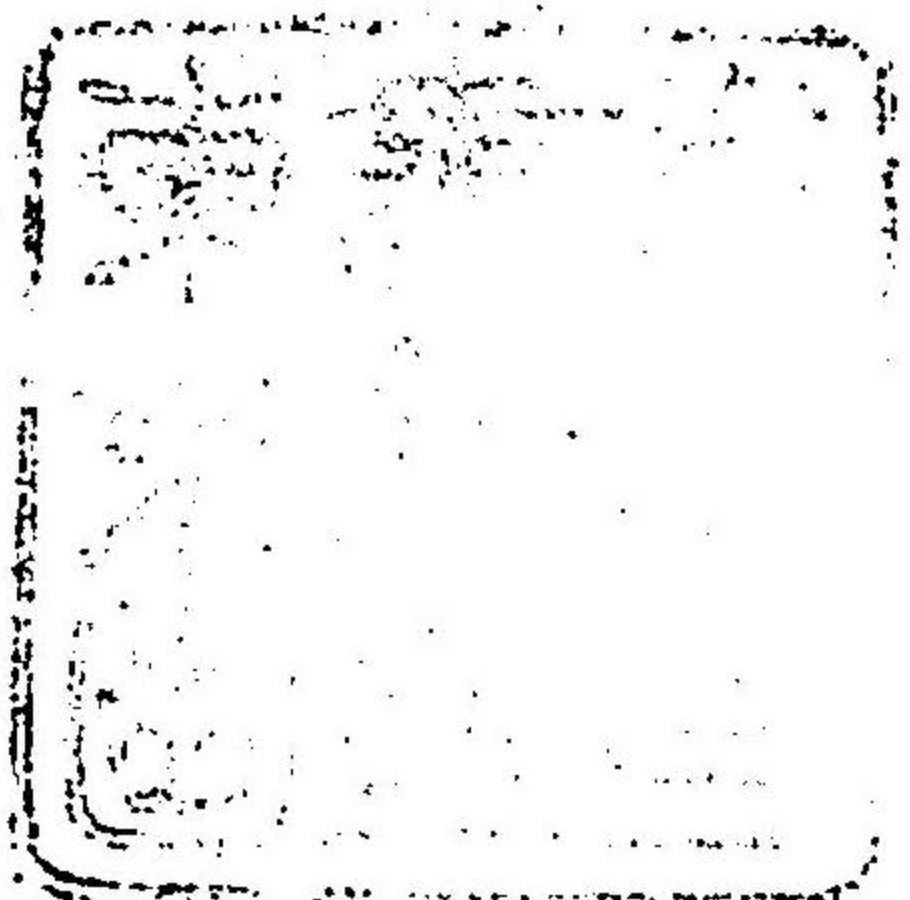
筑後地理小誌

三谷 有信/編

M15

ADC-3969



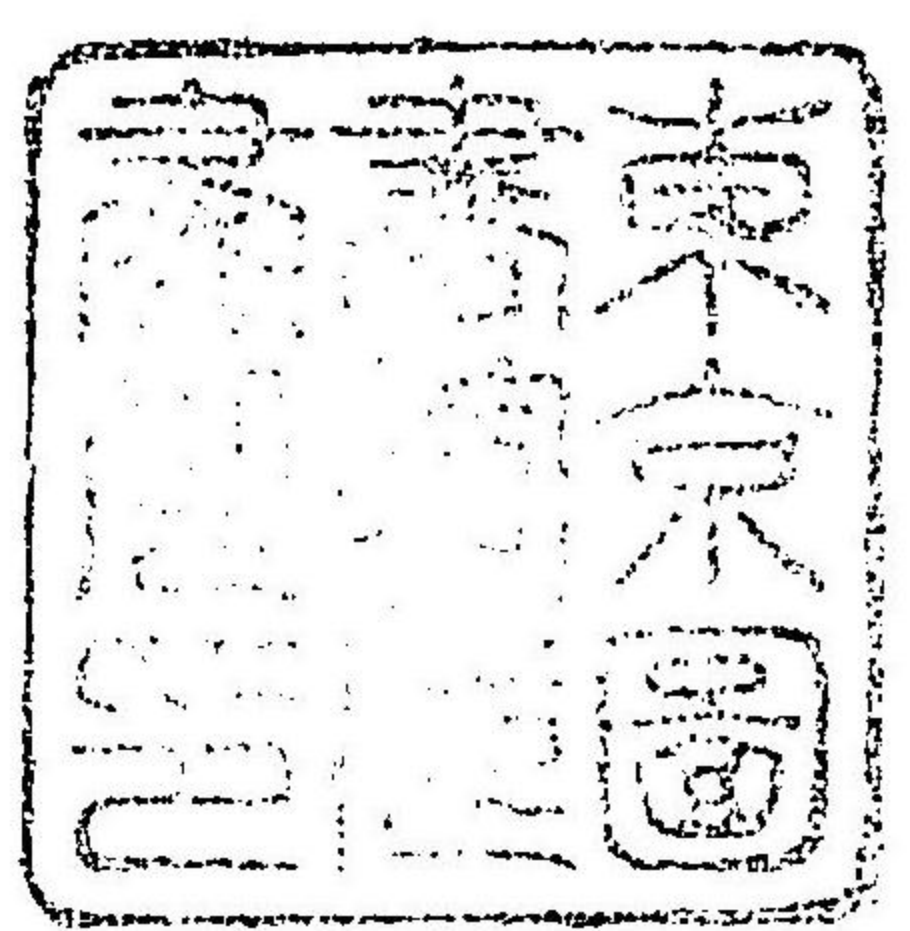


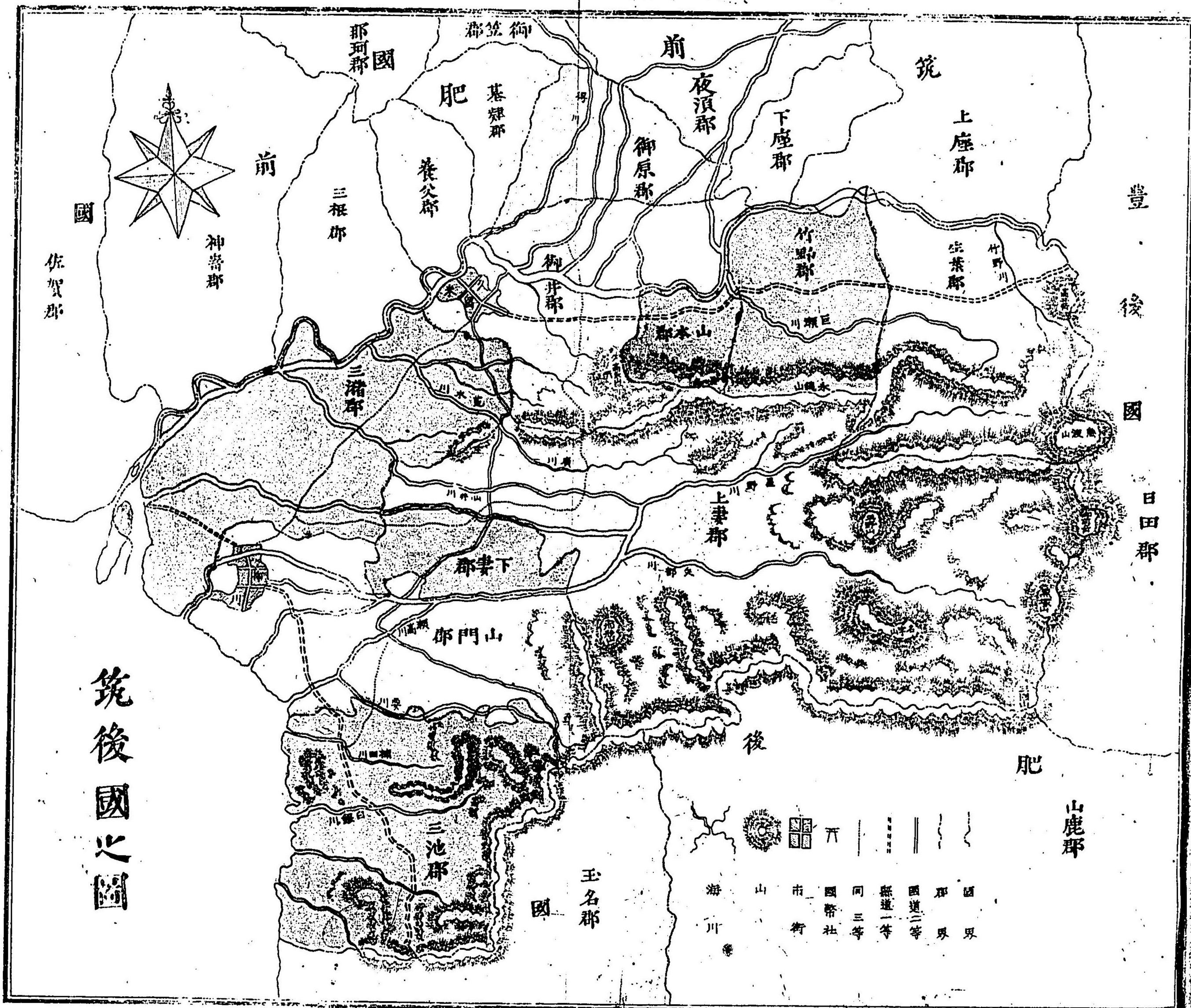
吉田利行校正  
三谷有信編輯

版權所有

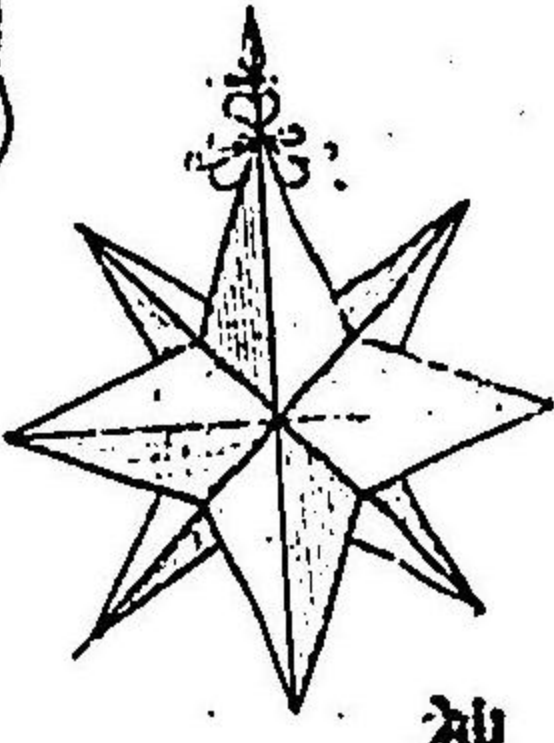
# 筑後地理小誌全

明治十五年  
五月刻成  
連璧社藏



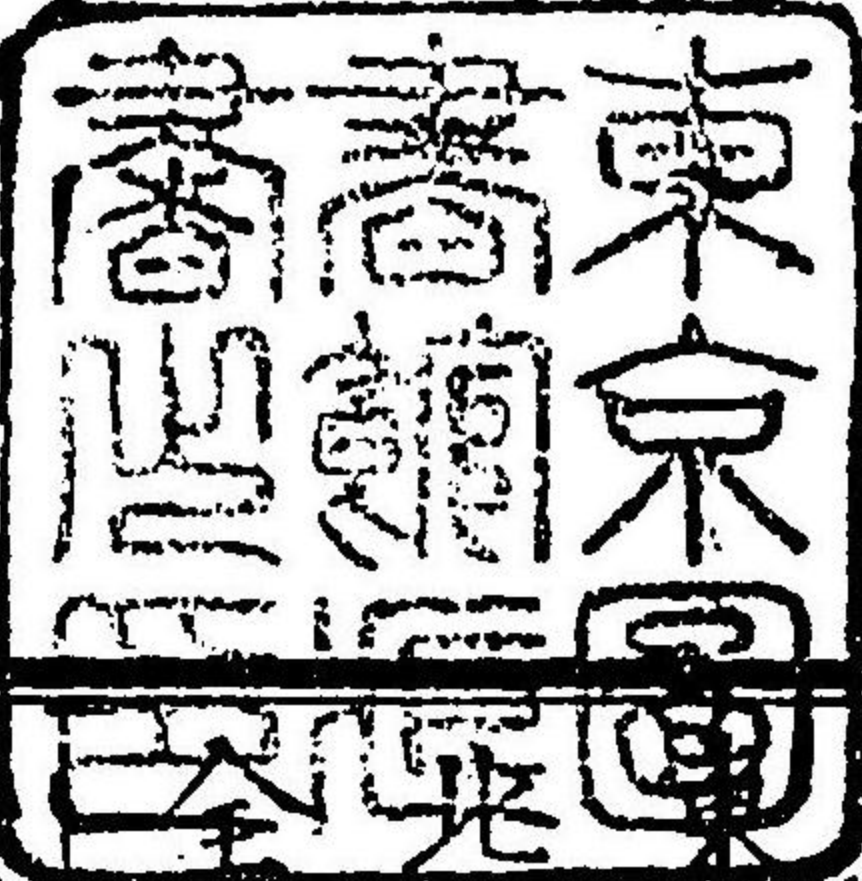


筑後國之圖



海 川 市 町 國幣社 國道一等 國道二等 縣道一等 縣道二等

特31  
364

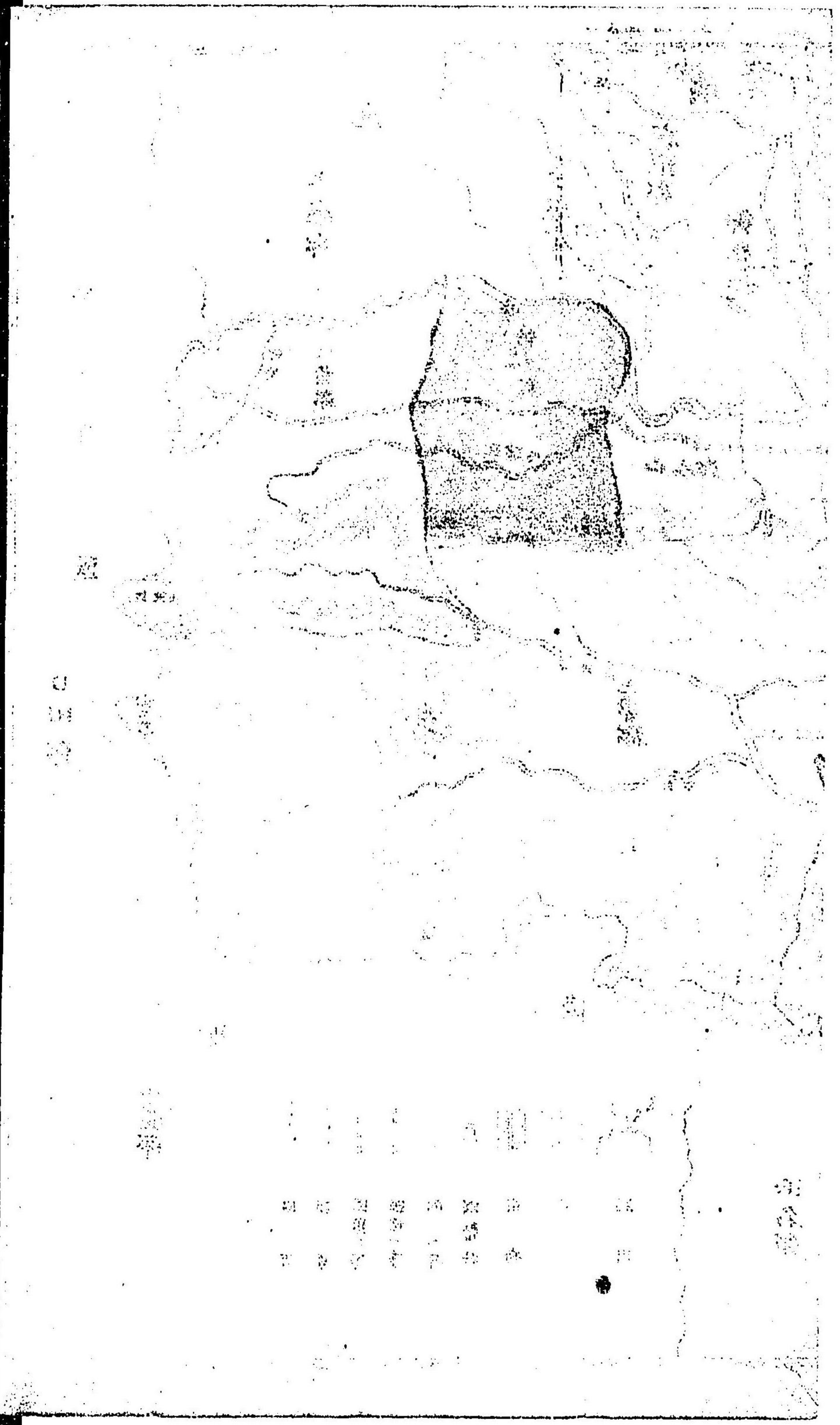


筑後地理小誌

總論

筑後ハ、舊筑紫ノ國ト云ヒ、筑前ト一國タリ、後分  
レテニトナリ、始テ筑後ノ名アリ、西海道ノ一國  
ニシテ、今福岡縣ニ隸ス、  
ハ、豊後南ハ、肥後ニ接シ、西南ハ、内海ニ臨ミ、西  
ハ、肥前ニ隣リ、北ハ、筑前ニ界ス、  
國ヲ大別シテ、十郡トナシ、之ヲ小別シテ、四百

筑前 吉田利行校閱  
筑後 三谷有信編輯



筑後地理小誌

一  
連登書樓

九十二村、八十七町トス、幅員、東、西、六里餘、南北、四里餘、周回、八十里、

全國ノ地勢、半梯形ヲナシ、東南ハ、山嶽、屏列シ、西北ハ、平坦ニシテ、田野相連リ、大河其間ニ流レテ、西南内海ニ注ク、運輸ノ便、灌溉ノ利アリ、土質、概テ肥沃ニシテ、米、穀、菜、種、茶、紙、蠟、等ノ物産ニ富メリ、

御井郡

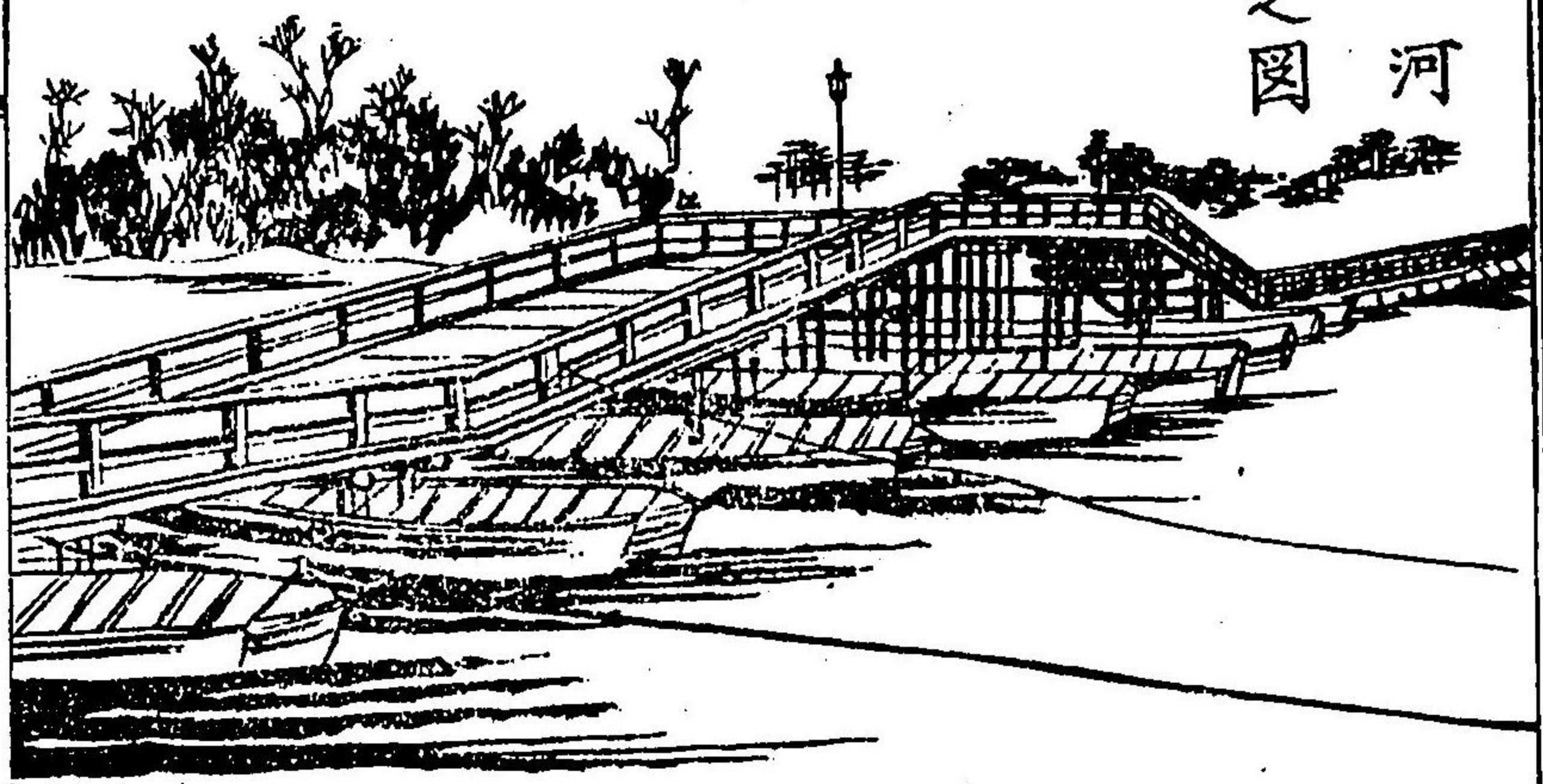
東ハ、山本、竹野二郡ニ連リ、南ハ、上妻郡、西南ハ、三瀨郡ニ接シ、西ハ、肥前ノ三根、養父二郡ニ隣リ、西北ハ、同國、基肆郡、北ハ、御原郡、東北ハ、筑前ノ下座

郡ニ界ス、

全郡ヲ分テ、五十四村、三十町トナス、幅員、東西、四里餘、南北、四里餘、周回、十二里餘、

郡ノ南ハ、連山、阜岡相繞リ、西北ハ、平坦ニシテ、大河、其中央ニ流レ、運輸ノ便、灌溉ノ利アリ、東南ハ、土質、肥瘠相錯リ、西北ハ、

筑後河  
船橋之図



沃饒ニシテ、米穀菜蔬能ク實リ、最モ藍草ニ適セリ、然レモ、低下ノ地ハ、洪水ノ害殊ニ甚シ、高良山ハ、郡ノ南ニアリテ、東水繩山ニ連リ、杵檜ノ材ニ富メリ、山上高良神社アリ、國幣中社タリ、筑後川ハ一名千歳川、又一夜川ト云フ、其水源ニハ、肥後國阿蘇郡小國山ニ發シ、一ハ豊後國直入郡大船山ニ發シ、相會シテ一トナリ、生葉竹野山本御井三瀦ノ五郡ヲ過キ、大野嶋ヲ抱テ、内海ニ入ル、流注凡三十五里餘、西海三大河ノ第一ニシテ、筑紫二郎ノ名アリ、

三川村ニ堰アリ、筑後川ノ水ヲ引キ、一千五百餘町ノ田ニ灌ク、其築造ノ壯大ナル、實ニ奇觀トス、久留米ハ、郡ノ西ニ在リ、有馬氏ノ舊治タリ、大河、其西北ヲ環流シ、市街繁盛、國中ノ都會トス、物産ハ、榲實菜種草綿藍葉紺飛白傘生蠟蠟燭野菜等ナリ、

御原郡

東ハ筑前ノ下座郡ニ接シ、南ハ御井郡、西ハ肥前ノ基肄郡ニ隣リ、北ハ筑前ノ御笠郡、東北ハ同國夜須郡ニ界ス、

全郡ヲ分テ二十九村、三町トス、幅員東西二里餘、南北二里餘、周回八里餘、

筑前肥前ノ山脈、西北ヨリ來テ、小山阜岡ヲナシ、東南ニ至テ、漸ク平低ナリ、河渠數條アレ、水淺クシテ、舟運ノ便ニ乏シ、土質肥瘠相半シ、亦水患ヲ免カレズ、

得川ハ、筑前御笠郡ヨリ來リ、太刀洗川、淀川ハ、同國夜須郡ヨリ來リ、共ニ本郡ヲ流通シ、御井郡ニ至テ、筑後河ニ入ル、

物産ハ、檀實、藍、葉生蠟、菜種、里芋、芋ナリ、

生葉郡

東ハ、豊後ノ日田郡ニ隣リ、南及ヒ西南隅ハ、上妻郡、西ハ、竹野郡ニ接シ、北ハ、筑前ノ上座郡ニ界ス、全郡ヲ分テ二十九村、一町トス、幅員東西三里餘、南北四里餘、周回十六里餘、

郡ノ東南ハ、山ヲ負ヒ、西北ハ、田野廣潤、且筑後川ノ巨流アリテ、水利最宜シキヲ得、又運輸ノ便アリ、土質肥瘠相錯リ、米麥善ク登ル、

熊渡山ハ、郡ノ東南隅ニ聳エ、南上妻郡ノ諸山ニ連リ、東ハ、豊後ノ日田郡ニ跨リ、國中ノ深山タリ

室山、龍河内山ハ、其西ニ在リ、高井嶽ハ、其北ニア  
 リ、共ニ其山脈ノ突起スル所トス、  
 星野川ハ、源ヲ熊渡山ニ發シ、西南流シテ、上妻郡  
 祈禱院村ニ至リ、矢部川ニ會ス、其支流、同郡山内  
 村ヨリ分レ、西流シテ、三瀦郡城嶋村ニ至リ、筑後  
 川ニ入ル、是ヲ山ノ井川、生津江川、又城嶋江川ト  
 稱ス、

巨瀬川ハ、源ヲ妹川村ニ發シ、本郡ヲ過キ、竹野郡  
 ニ入り、山本郡ニ至テ、筑後川ニ注ク、柳野川ハ、其  
 水源ニアリ、共ニ豊後國日田郡ヨリ發シ、小塩村

ニテ相會シ、櫻井村ニ至テ、筑後河ニ入ル、  
 大石、袋野ノ兩水道ハ、共ニ筑後河ノ水ヲ引キ、灌  
 漑ノ便ヲ取ル、其築造極メテ堅牢壯大ナリ、  
 物産ハ、榎實、菜種、藍葉、生蠟、楮皮、蒟蒻、茶葉、烟草等  
 ナリ、

竹野郡

東ハ、生葉郡、南ハ、上妻郡ニ界シ、西ハ、山本御井ノ  
 二郡ニ接シ、北ハ、筑前ノ上座、下座ニ郡ニ隣ス、  
 全郡ヲ分テ、二十三村トス、幅員東西凡二里、南北  
 二里餘、周四十里餘、



郡ノ南境ハ、山ヲ負ヒ、漸ク北シテ漸ク低ク、筑後川ノ瀕ニ達セリ、舟車ノ便アリ、山下ノ地ハ、土質肥瘠相錯リ、旱澇ノ患ナキニアラサレ、其他ハ概テ肥沃ニシテ、米穀善ク實ル、水繩山ハ、其山脈、生葉竹野、山本御井ノ四郡ニ連リ、南ハ、上妻郡ノ諸山ニ接ス、金屏山、屏風山、又九十九峰等ノ稱アリ、鷹取ニ田尾鐘懸發心等ハ、其最高峰ノ名ナリ、物産ハ、榲實、菜種、蜜柑、苗木等ナリ、

山本郡

東ハ、竹野郡、南ハ、上妻郡ニ界シ、西及北ハ、御井郡ニ接ス、國中ノ小郡タリ、全郡ヲ分テ、十二村トナス、幅員東西一里餘、南北二里餘、周回六里餘、郡ノ地勢土質等ハ、概テ竹野郡ニ同シ、但水繩ノ一帶赤山ニシテ、溪水之カ爲ニ涸ル、故ニ高燥ノ地ハ、旱損一層ヲ加エ、沿河卑濕ノ地ハ、殊ニ水害ヲ免カレス、水繩山ノ連峰、發心嶽ハ、郡ノ東南ニアリ、山麓ニ櫻樹多シ、春色最モ佳ナリ、

物産ハ、榎實藍葉生蠟等アリ、

三瀨郡

東北ハ、御井郡東ハ、上妻郡ニ接シ、東南ハ、下妻郡南ハ、山門郡ニ隣リ、西南ハ、内海ニ臨ミ、西北及ヒ北ハ、肥前ノ佐賀神崎三根三郡ニ界ス、全郡ヲ分テ百七村ニ町トス、幅員東西ニ里餘、南北四里餘、周回二十里餘、郡ノ西北ハ、大河ヲ帶ヒ、其東ハ、小阜岡アリ、地勢概乎平坦ニシテ、數百ノ溝渠、縱横濼田シ、灌溉ノ便、舟車ノ利アリ、東北ノ地ハ、土質肥瘠相錯リ、其他ハ、概乎肥饒ニシテ、米穀善

筑後地理小誌

筑前 吉田利行校閱

筑後 三谷有信編輯

總論

筑後ハ、舊筑紫ノ國ト云ヒ、筑前ト一國タリ、後分レテニトナリ、始テ筑後ノ名アリ、西海道ノ一國ニシテ、今福岡縣ニ隸ス、東ハ、豊後、南ハ、肥後ニ接シ、西南ハ、内海ニ臨ミ、西北ハ、肥前ニ隣リ、北ハ、筑前ニ界ス、全國ヲ大別シテ、十郡トナシ、之ヲ小別シテ、四百

物産ハ、檀寶藍葉生蠟等アリ

三瀨郡

東北ハ、御井郡、東ハ、上妻郡ニ接シ、東南ハ、下妻郡  
南ハ、山門郡ニ隣リ、西南ハ、内海ニ臨ミ、西北及ヒ  
北ハ、肥前ノ佐賀神崎三根三郡ニ界ス、  
全郡ヲ分テ百七村ニ町トス、幅員東西二里餘、南  
北四里餘、周回二十里餘、郡ノ西北ハ、大河ヲ帶ヒ、  
其東ハ、小阜岡アリ、地勢概乎平坦ニシテ、數百ノ溝  
渠、縱横滌回シ、灌溉ノ便、舟車ノ利アリ、東北ノ地  
ハ、土質肥瘠相錯リ、其他ハ、概乎肥饒ニシテ、米穀善

欠

MISSING

諸種ノ物産アリテ、其富他郡ニ冠タリ、但山間ノ地、舟車ノ便ヲ欠ノミ、

御前嶽ハ、郡ノ東ニ聳エ、豊後ノ日田郡ニ跨リ、山勢雄偉ニシテ、國中第一ノ高山タリ、東南ニ射干、黒塚三國名字等ノ諸山アリ、東北ニ、平野麻生ノ二嶽アリ、雌嶽雄嶽飛形山ハ、西南ニアリ、而シテ日向神岩山ハ、諸山ノ中ニ位シ、矢部河、其中央ヲ流レ、巨巖怪石、兩崖ニ駢立シ、奇絶名状スヘカラス、一州ノ勝區タリ、  
矢部川ハ、水源ニアリ、一ハ、御前嶽ヨリ出、一ハ、三

國山ヨリ發シ、矢部村ニテ相會シ、祈禱院村ニ至テ、星野川ヲ合セ、本郷村ニ至テ、再ヒ兩派トナリ、南折シテ海ニ入ルヲ、瀬高川又中嶋川ト稱ス、其一ハ、二川ニ至テ、又兩派トナリ、一ハ、出ノ橋ヲ過キ、矢留村ニ至リ、海ニ入ル、一ハ、柳河ノ東ニ至リ、又二派トナリ、一ハ、南ニ轉シ、皿垣村ニ至テ、海ニ入リ、一ハ、數派ノ溝渠トナリテ、柳河ノ市街ヲ環流ス、別ニ又一派アリ、平松川ト云フ、津江村ヨリ分レ、三瀦郡ニ至テ、筑後川ニ入ル、甘木川ハ、一ニ廣川ト云フ、源ヲ北河内村ノ山中

ニ發シ、三瀦郡黒田村ニ至リ、筑後川ニ入ル、其間、藤田川、荒木川、大善寺川等ノ稱アリ、後征西將軍良成親王ノ墓及ヒ其府址ハ、矢部村ノ奥、御側名ニアリ、

下妻郡

東及ヒ北ハ、上妻郡ニ接シ、南及西南ハ、山門郡西北ハ、三瀦郡ニ界ス、國中ノ小郡タリ、全郡ヲ別テ、二十二村トナス、幅員東西九二里、南北一里餘、周回五里餘

地勢概平坦ニシテ、矢部川、郡ノ南界ニ流レ、灌溉  
運輸ノ便アリ、土質肥饒ニシテ、最モ稻梁、甘蔗等  
ニ適ス、

物産ハ、紙、甘蔗、土器、蘭等ナリ、

山門郡

東ハ、上妻郡、東南ハ、肥後ノ玉名郡ニ隣リ、南ハ、三  
池郡ニ界シ、西ハ、内海ニ臨ミ、北ハ、下妻三瀨二郡  
ニ接ス、

全郡ヲ分テ、七十三村、四十六町トス、幅員東西凡  
五里、南北一里餘、周回十四里餘、

郡ノ東南ハ、山岳連亘シ、西北ハ、平行ニシテ海ニ  
連リ、灌溉ノ利、運輸ノ便アリ、東南ハ、土質肥確相  
錯リ、西北ハ、沃土多シ、又海ヲ填メテ田トスルモ  
ノ數百町、概テ肥沃ノ地タレ、且、時ニ海水暴漲ノ害  
ヲ免カレズ、

粟川ハ、源ヲ真弓村ノ山中ニ發シ、飯江村ニ至リ  
テ、飯江川ト稱シ、瀨高町ニ至リ、瀨高川ニ會ス  
柳河ハ、立花氏ノ舊治ニシテ、久留米ニ亞キ、國中  
ノ都會タリ、

物産ハ、魚、貝、瓦、酒、茶等ナリ、

三池郡

東及南ハ、肥後ノ玉名郡ニ界シ、西ハ、内海ニ臨ミ、東北及ヒ北ハ、山門郡ニ接ス、  
 全郡ヲ分テ、四十七村、三町トス。幅負東西九二里、南北四里餘、周回十四里餘、  
 郡ノ東南ハ、山嶽連亘シ、

岬村海邊之圖



西ハ、海ニ臨ミ、北ハ、山門郡ノ平野ニ連ル、其間東白銀村等ノ山脈、一帯西走シテ、岬角海中ニ突出シ、其左右、川流數條アリテ、灌漑運輸ノ便アリ、土質亦概<sub>テ</sub>肥沃ナリ、  
 諏訪、白銀、長溝、神崎、楠田等ノ諸川アリ、皆源ヲ郡ノ東部ニ發シ、西流シテ海ニ入ル、舟運ノ便ナシ、  
 大牟田港ハ、石炭運漕ノ要津ナリ、稻荷村、大浦坑ヨリ、鐵軌ヲ敷キ、其運搬ニ便ス、又泥濘ノ地ヲ開鑿シテ、開ヲ設ケ、潮水ヲ蓄ヘ、船舶ノ出入ヲ利ス、  
 物産ハ、甘蔗、茶、楮皮、石炭等アリ、



筑後地理小誌終

筑後國沿革

往古國造縣主ヲ置キ以テ地方ヲ管治ス、景行天皇ノ朝水沼縣主猿大海アリ、尔後皇子國乳別封ヲ本州ニ受ク仲哀天皇九年神功皇后土蜘蛛田油津媛ヲ山門縣ニ誅セラハ繼體天皇ノ時筑紫ノ磐井國造タリ、二十一年謀叛シ誅ニ就ク和銅六年道君首名ノ本國ニ守タリシヨリ、仁和二年ニ至ル迄凡一百七十餘年、國守ノ名正史ニ詳ナリ、此時ニ當リ、國府ヲ御井郡ニ置キ、國司之ニ臨ミ、以テ國內ヲ治ム、源賴朝霸府タリシク、草野永

平ヲ以テ、本州ノ守護職トス、建武中興、少貳頼尚  
 筑後守ニ任シ、守護職タリ、足利尊氏ノ叛スルヤ、  
 頼尚首トシテ之ニ属ス、正平中、菊池武光征西將  
 軍懐良ヲ奉シ、屢頼尚ヲ破リ、國內其兵威ニ服ス、  
 南朝既ニ衰ルニ及ンテモ、後將軍良成ハ、尚矢部  
 山中ニアリテ、久シク皇威ヲ保テリ、尊氏既ニ西  
 海ヲ定メ、州族高橋光種ヲ以テ、檢断使トス、尔後  
 探題、淡川氏アリ、州豪盡ク之ニ隸ス、天文ノ季、海  
 内大ニ乱レ、草野、星野、黒木、間注所、西牟田、蒲池、三  
 池、田尻等ノ諸族、各其郡邑ニ割據セリ、然レ兵少

力微ニシテ、自立スル能ハス、或ハ大内氏ニ依リ、  
 或ハ大友氏ニ属シ、國內連リニ其兵禍ヲ蒙レリ、  
 永祿七年、大友義鎮、大舉シテ本州ニ入り、盡ク諸  
 豪ヲ服従ス、天正中、大友氏衰ヘ、諸豪乃龍造寺ニ  
 歸ス、嶋津氏、勢俄ニ強大ナルニ及ヒ、闇御皆其侵  
 奪スル所トナル、同十五年、豊臣氏九州ヲ定メ、生  
 葉竹野、御原ノ三郡ヲ、小早川隆景ニ加封シ、立花  
 宗茂ヲ柳河ニ、其弟直次ヲ三池ニ、毛利秀包ヲ久  
 留米ニ、筑紫廣門ヲ山下ニ封ス、慶長五年、関ヶ原  
 ノ役畢リ、宗茂、直次、秀包、廣門、皆其封ヲ失ヒ、小早

川氏ハ、備前ニ移サレ、田中吉政ヲ全州ニ封シ、柳河ニ治ス、元和六年、吉政卒シ、嗣ナクシテ國除ス、同七年、有馬豊氏ヲ久留米ニ封シ、宗茂ヲ柳河ニ復封シ、而シテ宗茂ノ弟直次ヲ三池ニ分封ス、寛文中、豊氏ノ子忠郷、庶子豊範ヲ御原郡ニ分封シテ、松崎ニ治セシム、貞享中、幕府其封ヲ收メ、尋テ久留米ニ合ス、王政革新、明治二年、三藩各封土ヲ奉還ス、同四年、藩ヲ廢シテ、縣トナシ、同年十一月、三縣ヲ合セテ、三瀨一縣ヲ置キ、同九年、三瀨縣ヲ廢シテ、福岡縣ニ合ス、

筑後地理小誌終

明治十四年十一月十二日版權免許  
同十五年五月刻成

定稿六月八日

編輯人

福岡縣志

三谷有信

福岡縣御井郡

庄島町百五番地

同

出版人

古賀男夫

同縣福岡區橋口町  
廿三番地

筑後地理小誌

連發書裝

